

チャレンジ通信

埼玉県議会自由民主党議員団
政務調査会長



なかやしき慎一

睦月に思う

年末から元日にかけて我が国を襲った強力な寒波の影響により、寒く冬らしい新年となりましたが、皆様が過ごして下さるでしょうか？



2022年の「オミクロン株」は特徴として、

この原稿を打ちこんでいる今日3日、私は所属している鴻巣・北本倫理法人会の今年最初のモーニングセミナー、箕田の宝持寺さんで行われた「坐禅会」に参加させて頂きました。朝の本堂の凛とした空気の中で「無」の境地へと座禅を組みましたが、なかなか「無」にはなれなれませんでした。まだまだ人生修行が足りないようです。

迎えつつあります。この「オミクロン株」は特徴として、

人への感染力や伝播性が、爆発的な感染拡大をみた第5波の主因であつたデルタ株よりも高く、「ワクチン」の効果弱められるとの事ですが、ワクチンの重症化予防効果はある程度保たれるそうです。対策としては、個人的には「3密の回避」、「マスクをしっかりと付ける」、「ワクチン接種を続ける」と今まで行ってきたことを継続頂き、国としては、水際対策から国内対策の強化へとシフトしつつ、3回目のワクチン接種を進め、当初の原則であつた2回目接種から8ヶ月の経過期間を、自治体の判断で6ヶ月まで前倒すこととなりました。また、経口治療薬についても、先月24日に特例承認され、27日から厚労省に発注を行った医療機関や薬局へ発送してまいります。皆様のご協力と、2年間得られた様々な知見を駆使して、この状況乗り越えて参りましょう。



県議会12月定例会報告

補正予算【第12号】 **36億1,663万円**

ポストコロナ見据えた経済対策重視

補正予算【第13号】 **383億1,641万8千円**

無料PCR・抗原検査を実施へ

県議会12月定例会は12月2日に開会し、補正予算【第12号】一般会計36億1,663万円及び補正予算【第13号】一般会計383億1,641万8千円等を議決し12月22日に閉会しました。

(補正後累計：2兆6,375億5,877万6千円)

補正予算【第12号】の主な内容はポストコロナ・ウィズコロナを見据え、経営環境の変化に対応した事業の再構築に取り組む中小企業等への支援として1億2,814万1千円、キャッシュレス決済の導入に取り組む商店街への支援として4,653万6千円、県産農産物販売促進キャンペーンによる農業生産者への支援として1億6,216万6千円など、経済活性化を重視した予算編成となっています。

補正予算【第13号】は、健康上の理由等でワクチン接種を受けられない無症状の方に加え、感染拡大傾向が見られる場合には、新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項等に基づき知事が受検要請を行い、これに応じた感染に不安を感じる無症状の方などの検査を無料化するための予算などが盛り込まれています。



2021年9月10日 小泉進次郎環境大臣へ要望書提出。(小川町の急傾斜地へのメガソーラー設置を見直してもらうための要望を行いました。)

今年も皆様のお声に耳を傾け活動して参ります。

補正予算(第12号)の主な内容

一般会計 36億1,663万円

- 新しい生活様式を見据えた社会経済活動の活性化に向けた支援 **7億522万3千円**
- 介護施設等における新型コロナウイルス感染症対策の継続 **28億2,699万4千円**
- 公共事業等の施行時期の平準化・適正工期の確保
 - 債務負担行為の設定 限度額:111億5,862万4千円
 - 繰越明許費の設定 98億5,266万1千円

(13号補正後累計 2兆6,375億5,877万6千円)

補正予算(第13号)の主な内容

一般会計 383億1,641万8千円

- 「ワクチン・検査パッケージ」等のため必要な無料PCR検査・抗原定性検査の実施 **298億4,091万5千円**
- 社会経済活動の再開に向けた支援 (宿泊割引等の観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援) **31億4,065万7千円**
- 生活に困っている人々への支援 (社会福祉資金特例貸付の受付期間を年度末まで延長) **53億3,484万6千円**



『埼玉県5か年計画』可決！

日本一暮らしやすい埼玉へ (令和4年～8年度)



2021年10月12日
5か年計画特別委員会質疑。

9月定例会で上程された本県の最上位計画である「埼玉県5か年計画」は10月12日、11月4・10・17・19日、12月20日の6日間の審査を経て、12月22日に自民党県議団で提出した修正案と修正案を除く原案の両案を承認し議案として成立しました。

私達自民党議員団では、私が会長を務める政務調査会の主催で、委員会審査の全日程の事前に、団員を対象とした勉強会をその都度丸一日かけて行いました。団員の皆さんの積極的な参画により充実した委員会審査へと結びついたものと感じています。

今回の「埼玉県5か年計画」は、増加を続けてきた県人口が減少に転じるとともに、激甚化・頻発化する災害、新型コロナウイルス感染症の拡大、そしてそれらの課題に対応するためにデジタル技術の活用を飛躍的に拡大・浸透させる必要など、本県が今後5年間で迎える大きな転換点を見据え、新たなスター

トダッシュを図り、「日本一暮らしやすい埼玉」を実現するために策定されたものです。

さて、この5か年計画は「議案」として執行部から提出されたもので議会としては、内容を詳細に精査して必要があれば「議案修正」や、執行にあたっての「付帯決議」を付さねばなりません。私たち自民党議員団政務調査会では、政調3役を中心に、他会派の委員質疑も含めた450質疑のすべてを精査し、提案された91項目の内、38項目の修正(案)、18項目の付帯決議(案)を提案し、合わせて計画書作成にあたって、より県民の皆様にご理解いただけるよう12項目の対応を求める意見(案)も提出しました。

当初は、膨大な質疑の精査が必要なことから12月定例会中の議決には至れないのではないかとの思いもありましたが、2月定例会での予算審議への影響を鑑みて、連日我が家を6時半には出発し対応に当たって来ましたが、全会派及び無所属の2人を含めた議会全体で一致した議決に至れた事は実に感無量でありました。皆さんありがとうございました。

※新規施策のみ載せています。

将来像	針路	分野別施策	主な施策指標
安心・安全の追求	災害・危機に強い埼玉の構築	・危機管理・防災体制の再構築 ・大地震に備えたまちづくり ・治水・治山対策の推進 ・感染症対策の強化 4施策	感染症専門研修受講者数 0名 ⇒ 542名 (2年度末) (8年度末) ・県内全病院343、全有床診療所199に対応 新規
	県民の暮らしの安心確保	・防犯対策の推進と捜査活動の強化 ・交通安全対策の推進 ・安全な水の安定供給と健全な水循環の推進 ・生活の安心支援 など6施策	子供の居場所の数 380か所 ⇒ 800か所以上 (2年度) (8年度) ・県内公立小学校数806校を目安 新規
	介護・医療体制の充実	・地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり ・介護人材の確保・定着対策の推進 ・地域医療体制の充実 ・医師・看護師確保対策の推進 など5施策	災害時連携病院の指定数 0病院 ⇒ 35病院 (2年度末) (8年度末) ・災害拠点病院(現在22)との連携を視野に 新規
誰もが輝く社会	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	・多文化共生と国際交流のSAITAMAづくり ・地域の魅力創造発信と観光振興 ・デジタル技術を活用した県民の利便性の向上 など6施策	県行政手続のオンライン利用率 21.9% ⇒ 50% (元年度) (8年度) ・国の「規制改革実施計画」を踏まえ設定 新規
持続可能な成長	未来を見据えた社会基盤の創造	・住み続けられるまちづくり ・埼玉の活力を高める道路ネットワークの構築 ・埼玉の価値を高める公共交通網の充実 など3施策	埼玉版スーパー・シティプロジェクトに取り組む市町村数 0市町村 ⇒ 46市町村 (2年度) (8年度) ・令和3年度調査で取り組み意向を示した市町村 新規
	豊かな自然と共生する社会の実現	・恵み豊かな川との共生 ・生物多様性の保全 ・活力ある農山村の創造 ・地球環境に優しい社会づくり など7施策	SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーター数 0人 ⇒ 24,000人 (2年度末) (8年度末) ・過去のイベント参加者平均2,700人を年4,000人へ 新規



自民党県議団は、様々な課題に取り組むためプロジェクトチーム(PT)を結成し、協議・検討を行っています。中屋敷(政務調査会長)が座長を務めています。

引きこもり自立支援のあり方検討PT

皆さんは「引き出し屋」と呼ばれる存在をご存じでしょうか？これは、孤立を余儀なくされている「引きこもり状態にある人」や「その家族」の抱える不安に付け込み、引きこもり者本人の意思を無視して強引に自宅や自室から引き出して高額な費用を請求するという存在です。

私たち引きこもり自立支援のあり方PTでは、様々な理由で引き込まざるを得ない人々やその家族がこうした被害を受けないようにするために「県として何か出来ることはないのか？」

との思いから昨年当初にPTを立ち上げ、県内各地で自立支援に取り組まれている皆様と様々な意見交換を重ねました。その中で、心苦しくも「引き出し屋」に依頼せざるを得ない家族の状況などこの問題の奥深さにも直面しました。そして、この状況を少しでも回避するためには、県として「条例」を定めるべきとの結論に至り、現在、自民党埼玉県連のHPで骨子案のパブリックコメントを実施しています。期間は1月22日迄です。課題を抱えた皆さんに寄り添う「条例」にすべく、ご意見よろしくお願い致します。

